

令和元年度  
奈良県 子どもの生活に関する実態調査の  
速報(抜粋版)

## 目次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
	1. 家計の状況	4
	2. 住まいの状況	5
	3. 子育ての状況	6
	4. 仕事の状況	8
	5. 養育費の状況	10
	6. 子育て相談窓口に関する意識	12
	7. こども食堂に関する意識	13

## I 調査の概要

## 調査目的

本県の子どもの貧困対策が、より県民ニーズに寄り添ったものとなるよう、県内の子どもとその家族の生活状況、格差実態、及び各種支援制度の利用状況を調査する。

## 実施概要

	ひとり親世帯等に対するアンケート調査			小中学生の子がいる世帯に対するアンケート調査	
調査期間	令和元年8月1日～9月10日			令和元年10月15日～11月11日	
調査対象	県内で児童扶養手当を受給している母子家庭の母・父子家庭の父及び奈良県母子福祉連合会の会員である寡婦			県内の公立学校に通う小学5年生・中学2年生の児童生徒及びその保護者	
調査対象	母子世帯	父子世帯	寡婦世帯	小学5年生及び保護者	中学2年生及び保護者
人数	3,100	500	400	2,010	1,984
配布方法	市町村窓口で配布		郵送	学校から配布	
回収方法	郵送			郵送	
回収数	747			1288	
回収率	18.7%			32.2%	

※以下、各表・グラフでは、「ひとり親世帯等に対するアンケート調査」は「ひとり親」、「小中学生の子がいる世帯に対するアンケート調査」は「小中学生」と省略する。

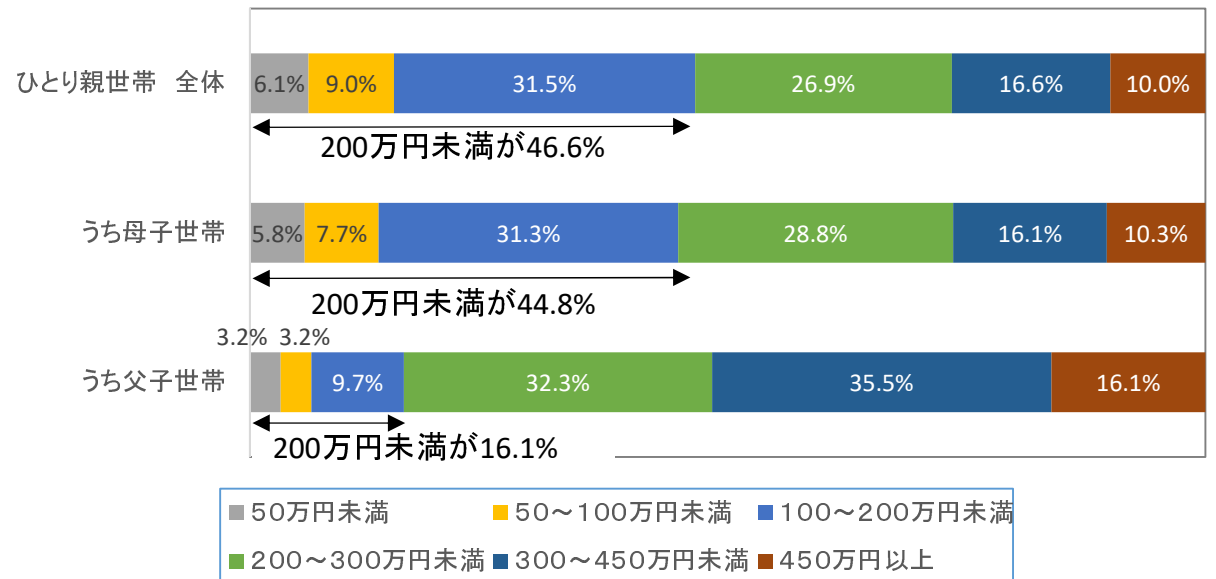
## II 調査結果の概要

# 1. 家計の状況

## 【奈良県のひとり親世帯の収入(年収)】

- ・ひとり親世帯全体の年間収入を平成26年度と比較すると、200万円未満の比率が7.8ポイント減少しているものの、依然として高い比率を占めている。
- ・また、母子世帯の年間収入を平成26年度と比較すると、200万円未満の比率が12.8ポイント減少しているものの、依然として高い比率を占めている。

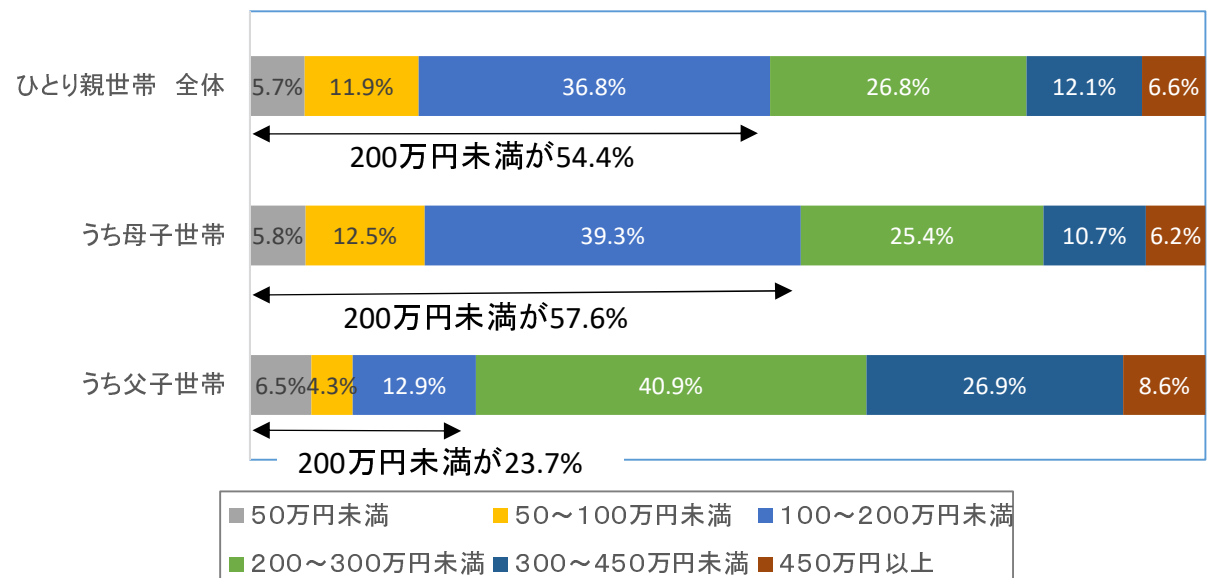
## 令和元年度 奈良県のひとり親世帯の収入(年収)の状況



## 世帯年収(ひとり親/問30)

		20万円未満	20~50万円	50~100万円	100万円以上
		比率	前回比	比率	前回比
ひとり親世帯 全体	比率	46.6	43.4	90.0	10.0
	前回比	-7.8	4.5	-3.3	3.3
うち母子世帯	比率	44.8	44.8	89.7	10.3
	前回比	-12.8	8.7	-4.1	4.1
うち父子世帯	比率	16.1	67.7	83.9	16.1
	前回比	-7.5	0.0	-7.5	7.5

## 平成26年度 奈良県のひとり親世帯の収入(年収)の状況



※回答のうち、「わからない」「不明」を除く

## 2. 住まいの状況

住居の種類(小中学生/問7)

	サンプル数	持ち家(一戸建て)	持ち家(マンション等)	公営(県営・市町村営)住宅	公社・雇用促進住宅等	社宅	民間の賃貸住宅	実家や親族の家に同居	その他	不明	持ち家計
小中学生の子がいる世帯 全体	644	78.9	6.1	0.9	0.5	0.5	7.9	3.7	1.1	0.5	85.0

### 【住居の種類】

・現在の住居の種類について、全体では持ち家(一戸建て+マンション等)の比率が高くなっているが、ひとり親世帯(特に母子世帯)では、持ち家の比率が低く、民間の賃貸住宅の比率が高くなっている。

・また、平成26年度の比率と比較すると、持ち家は8.2ポイント増加し、「実家や親族の家に同居」は4.9ポイント減少している。

住居の種類(ひとり親/問8)

	サンプル数	持ち家(一戸建て)	持ち家(マンション等)	町村営(県営・市住宅)	公営(県営・市住宅)	住宅等	公社・雇用促進社宅	民間の賃貸住宅	実家や親族の家に同居	その他	不明	持ち家計
ひとり親世帯 全体	747	31.7	4.7	7.5	0.9	0.1	30.3	21.7	2.8	0.3	36.4	
ひとり親世帯種別												
母子世帯	605	22.1	5.1	8.3	1.0	0.2	34.7	25.3	3.0	0.3	27.2	
父子世帯	34	50.0	2.9	2.9	2.9	-	23.5	14.7	2.9	-	52.9	
寡婦世帯	73	76.7	2.7	5.5	-	-	9.6	4.1	1.4	-	79.4	

### 3. 子育ての状況

#### 【子どもと過ごす時間の評価】

・子どもと過ごす時間が、「とれていない」※世帯は28.7%。

ひとり親世帯や保護者が正社員・正職員である世帯では、「とれていない」※比率が高くなっている。

※「とれていない」は、「あまりとれていない」+「全くとれていない」の合計

子と過ごす時間の評価(小中学生/問11)

		サンプル数	十分に とれている	大体 とれている	あまり とれていない	全く とれていない	不明	と れ て い る 計	と れ て い な い 計
小中学生の子がいる世帯 全体		644	29.2	41.6	26.2	2.5	0.5	70.8	28.7
勤務形態別	正社員・正職員	165	12.7	30.9	50.3	6.1	-	43.6	56.4
	有期雇用	235	30.2	45.5	21.7	1.7	0.9	75.7	23.4

子と過ごす時間の評価(ひとり親/問13③)

		サンプル数	十分に とれている	大体 とれている	あまり とれていない	全く とれていない	不明	と れ て い る 計	と れ て い な い 計
ひとり親世帯 全体		673	17.2	34.6	40.4	7.1	0.6	51.8	47.5

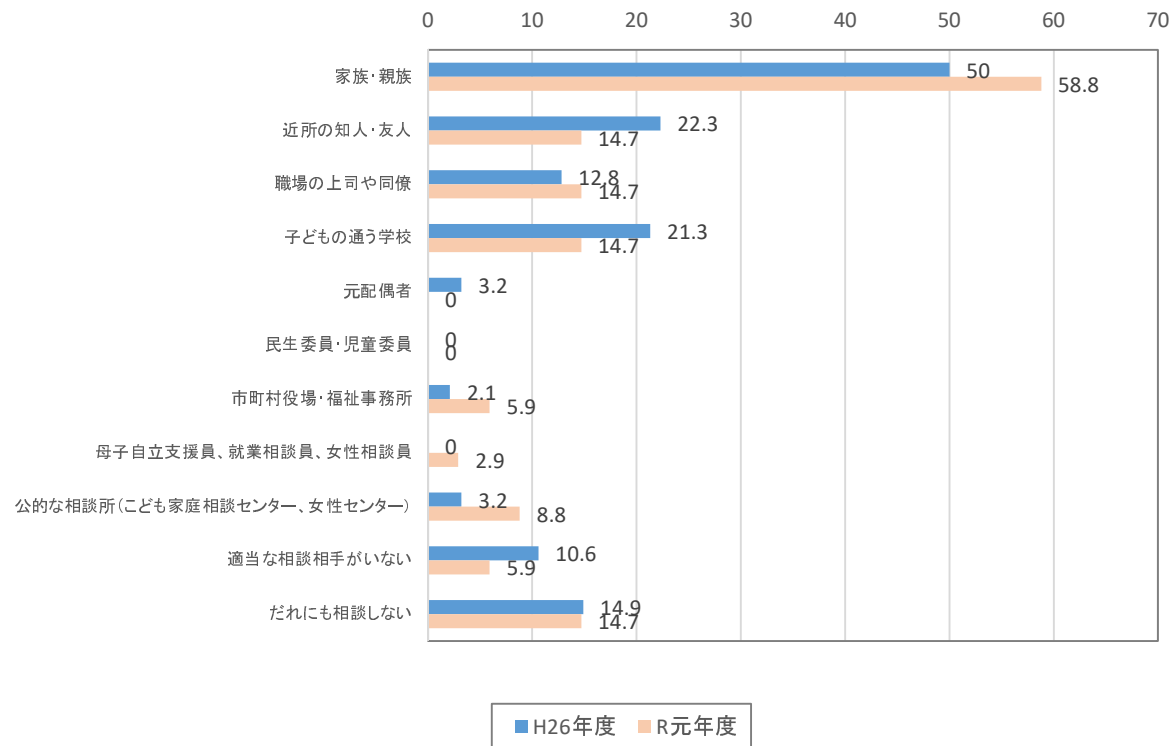


### 3. 子育ての状況

#### 【子育ての悩みの主な相談者(父子家庭)】

・父子家庭における子育ての悩みの主な相談者の比率を平成26年度と比較すると、「近所の知人・友人」が7.6ポイント減少、「子どもの通う学校」が6.6ポイント減少、「適当な相談相手がいない」が4.7ポイント減少し、「家族・親族」が8.8ポイント増加、「公的な相談所」が5.6ポイント増加している。

子育ての悩みの主な相談者(父子家庭)



## 4. 仕事の状況

### 【世帯収入の内容】

- ・世帯収入に自分の仕事の収入が含まれる世帯の比率は67.7%。  
ひとり親世帯では82.2%となっている。

### 【働き方】

- ・働き方は、「正社員・正職員」が37.8%。  
最終学歴が「大学等」の世帯、世帯年収が「450万円以上」の世帯、  
ひとり親世帯では比率が高くなっている。

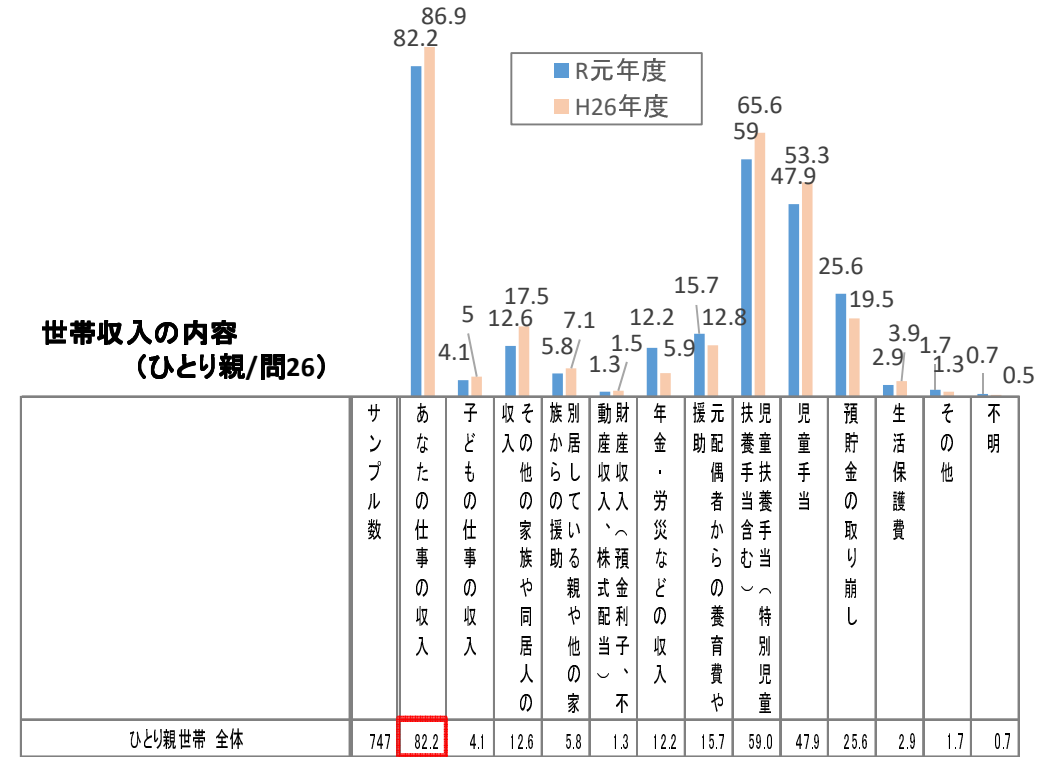
世帯収入の内容(小中学生/問35)

	サンプル数	あなたの仕事の収入	配偶者の仕事の収入	その他の家族や同居人の収入	別居している親や他の家族からの援助	財産収入(預金配当、不動産収入)	年金・労災などの収入	援助者からの養育費や	児童扶養手当(特別児童扶養手当含む)	児童手当	預貯金の取り崩し	生活保護費	その他	不明
小中学生の子がいる世帯 全体	644	67.7	88.8	6.8	3.6	2.2	2.0	1.2	4.8	32.9	7.9	0.3	-	0.3

働き方(小中学生/問36①)

	サンプル数	自営業主	家族従業者	正社員・正職員	派遣・契約社員	アルバイト・パート	雇用時・日雇	内職	その他	不明	
小中学生の子がいる世帯 全体	436	5.0	2.3	37.8	3.0	50.2	0.7	0.5	0.2	0.2	
最終学歴別	中学校、高等学校	92	2.2	2.2	28.3	4.3	60.9	-	1.1	1.1	-
	専門・各種学校	89	3.4	4.5	37.1	6.7	48.3	-	-	-	-
	大学等	250	6.8	1.6	41.6	1.2	46.8	1.2	0.4	-	0.4
世帯年収別	200万円未満	57	3.5	-	12.3	8.8	75.4	-	-	-	-
	200万円以上450万円未満	84	6.0	2.4	33.3	1.2	57.1	-	-	-	-
	450万円以上	237	4.2	2.5	50.2	2.5	38.8	0.8	0.4	-	0.4

世帯収入の内容(ひとり親/問26)



働き方(ひとり親/問22①)

	サンプル数	自営業主	家族従業者	正社員・正職員	派遣・契約社員	アルバイト・パート	雇用時・日雇	内職	その他	不明
ひとり親世帯 全体	624	3.7	0.6	47.8	7.9	36.1	2.7	0.6	0.3	0.3

## 4. 仕事の状況

### 【非就業者の就業希望】

・ひとり親世帯のうち、非就業者で、就業を希望している比率は50.9%。

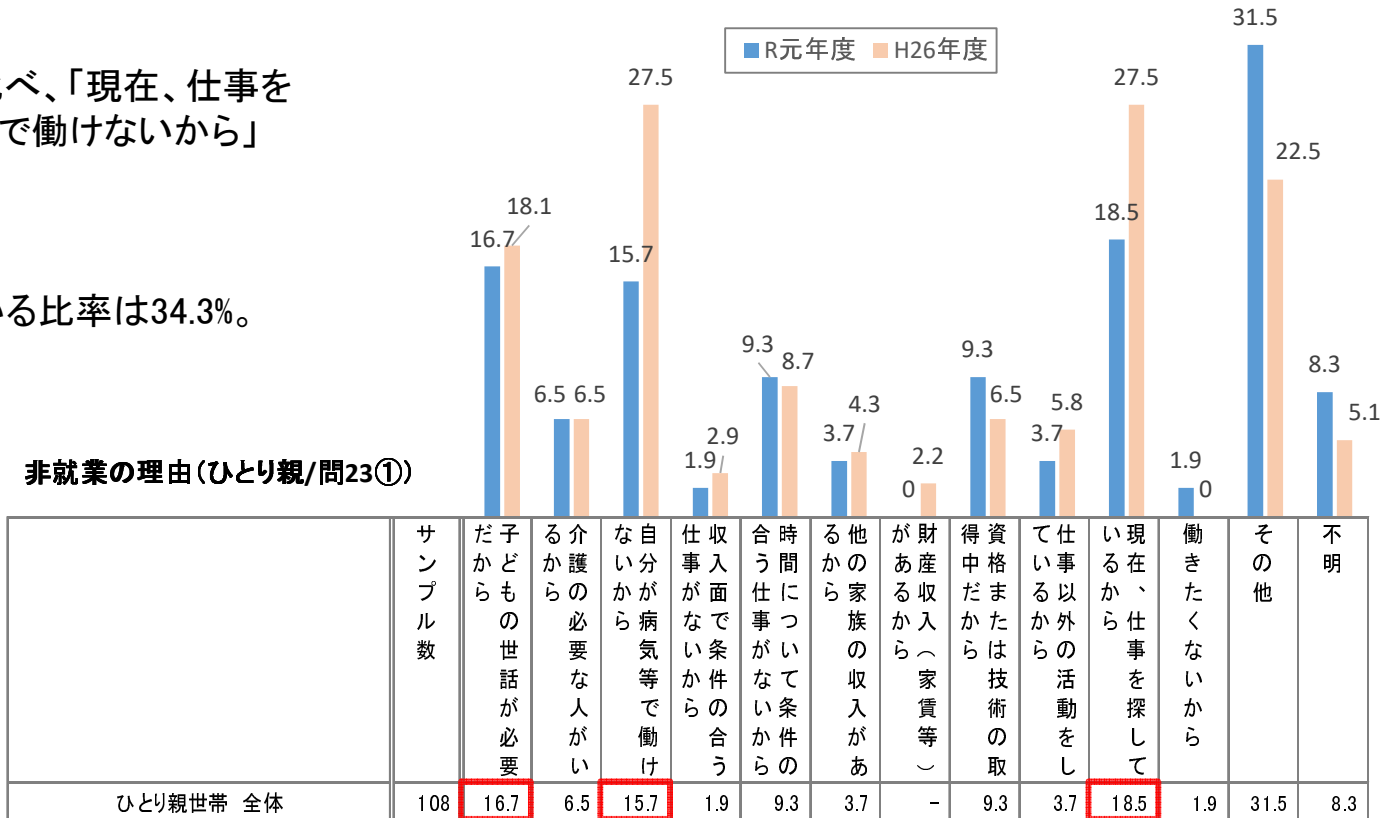
### 【非就業の理由】

・非就業の理由は「現在、仕事を探しているから(18.5%)」、「子どもの世話が必要だから(16.7%)」、「自分が病気等で働けないから(15.7%)」が多い。

・ただし、非就業の理由の比率は、平成26年度と比べ、「現在、仕事を探しているから」9.0ポイント減少、「自分が病気等で働けないから」11.8ポイント減少となっている。

### 【転職希望の有無・転職希望の理由】

・ひとり親世帯のうち、就業者で、転職を希望している比率は34.3%。  
最も多い転職希望理由は、「収入面(70.6%)」。



### 非就業者の就業意向(ひとり親/問23②)

	サンプル数	希望がある	希望はない	不明
ひとり親世帯 全体	108	50.9	35.2	13.9

### 転職希望の理由(ひとり親/問22⑤)

	サンプル数	収入面	通勤時間	健康面	仕事内容	職場環境	労働時間	十分	社会保険が不	休暇条件	人間関係	身分が不安定	発揮できない	経験や能力を	その他	不明
ひとり親世帯 全体	214	70.6	8.9	8.9	14.0	9.3	17.8	7.0	7.9	8.9	12.6	3.3	2.3	0.5		

### 転職希望の有無(ひとり親/問22④)

	サンプル数	し転職を希望	し転職を希望	不明
ひとり親世帯 全体	624	34.3	62.5	3.2

## 5. 養育費の状況

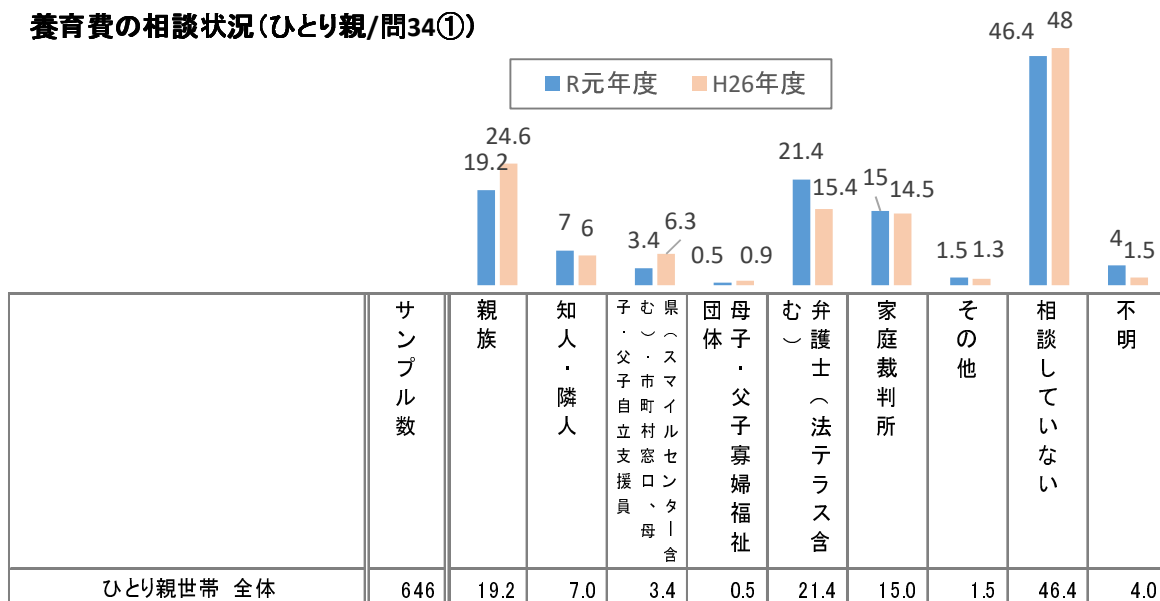
### 【養育費の相談状況】

・養育費の相談状況について、「相談していない」が46.4%を占めており、平成26年度と比較すると「弁護士（法テラス含む）」6ポイント増加、「親族」5.4ポイント減少となっている。

### 【養育費の取り決め状況】

・ひとり親世帯の33.7%が養育費について文書で取り決めを交わしており、10.4%が文書以外で取り決めを交わしている。

養育費の相談状況(ひとり親/問34①)



養育費の取り決め状況(ひとり親/問34②)

取り決め状況	サンプル数	割合 (%)
文書を取り決めを交わしている	646	33.7
文書を取り決めを交わしていない	646	10.4
不明	646	52.8

## 5. 養育費の状況

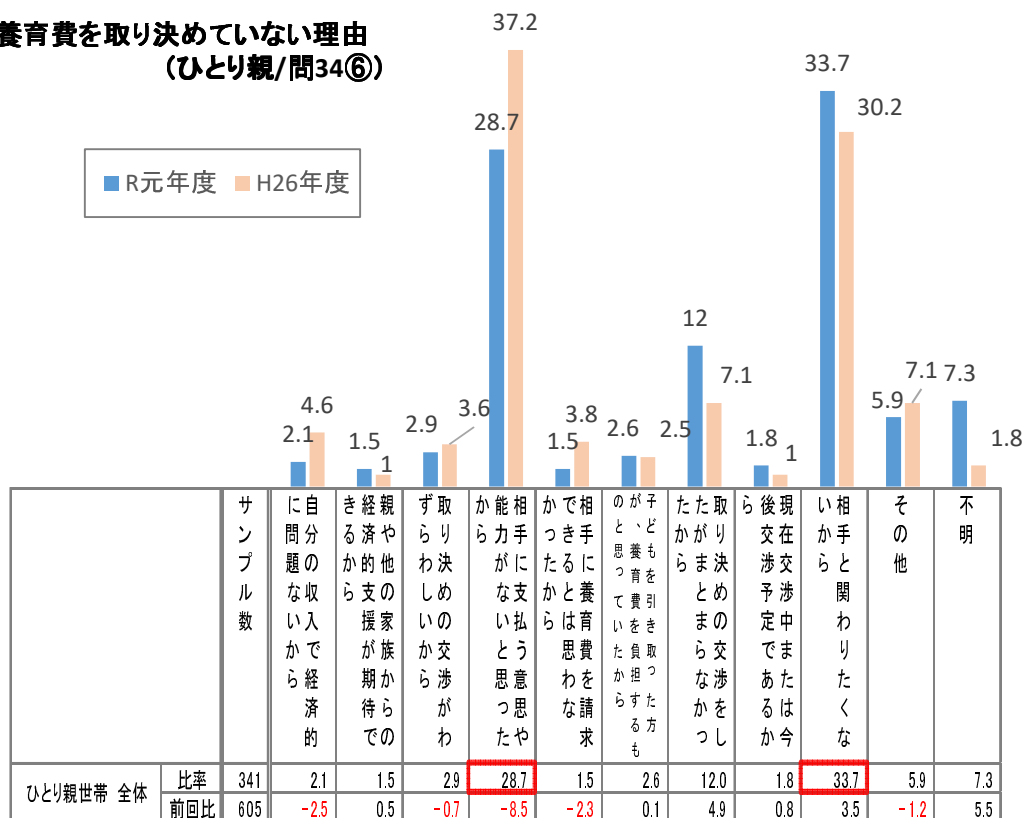
### 【養育費を取り決めていない理由】

- ・養育費を取り決めていないは、「相手と関わりたくないから」「相手に支払う意思や能力がないと思ったから」が上位。
- 平成26年度と比較すると、「相手に支払う意思や能力がないと思ったから」8.2ポイント減少、
- 「取り決め交渉をしたがまとまらなかったから」4.9ポイント増加、「相手と関わりたくないから」3.5ポイント増加となっている。

### 【養育費の支払い状況】

- ・取り決めをしている人のうち養育費が「全く支払われていない」世帯の比率は26.3%。

養育費を取り決めていない理由  
(ひとり親/問34⑥)



養育費の支払状況(ひとり親/問34⑤)

	サンプル数	取り決めどおり全額支払われている	取り決めどおりの額の半分以上は支払われている	取り決めどおりの額の半分も支払われていない	全く支払われていない	その他	不明
ひとり親世帯 全体	285	51.2	7.7	4.9	26.3	3.9	6.0

## 6. 子育て相談窓口に関する意識

### 【子育て相談窓口の認知度】

・子育て相談窓口を「知っている」「ほとんど知っている」世帯は37.6%。

### 【子育て相談窓口の利用意向】

・子育て相談窓口を今後利用しない意向の世帯は28.0%。

### 【子育て相談窓口の利用についての不安】

・子育て相談窓口の利用についての不安は、「相談しても問題が解決できるかがわからない」、「どこに相談すれば良いかわからない」、「相談することで問題がおおごとになりそう」が、上位となっている。

子育て相談窓口の認知度(小中学生/問23)

	サンプル数	知っている	いほとんど知っている	いほとんど知らない	知らない	不明	知っている計
小中学生の子がいる世帯 全体	644	21.1	16.5	48.3	14.0	0.2	37.6

子育て相談窓口の利用意向(小中学生/問26)

	サンプル数	思う利用すると	いどちらとも	と利用しない	不明
小中学生の子がいる世帯 全体	644	7.1	52.0	28.0	12.9

子育て相談窓口の利用についての不安(小中学生/問27)

	サンプル数	きる相談してもわからない問題が解決でき	お相談することでお	分どこに相談すれば良いか	世間体が悪い	等利用すること行政やNPOが増える	その他	不明
小中学生の子がいる世帯 全体	644	49.1	20.3	21.3	1.6	3.9	11.0	18.3

## 7. こども食堂に関する意識

### 【こども食堂の認知度】

- ・こども食堂の認知度は82.9%。

### 【こども食堂の利用意向】

- ・こども食堂を今後利用しない意向の世帯は58.7%。

### 【こども食堂の利用についての不安】

- ・こども食堂の利用についての不安は、「衛生面への配慮が不十分」、「アレルギー対策が不十分」、「手続きが煩雑」が上位となっている。

### こども食堂の認知度(小中学生/問29)

	サンプル数	知っている	知らない	不明
小中学生の子がいる世帯 全体	644	82.9	16.6	0.5

### こども食堂の利用意向(小中学生/問32)

	サンプル数	思う利用すると	いどちらでもない	と利用しない	不明
小中学生の子がいる世帯 全体	644	5.0	30.1	58.7	6.2

### こども食堂の利用についての不安(小中学生/問33)

	サンプル数	アレルギー対策が不十分	子どもの口に合わない	メニューが偏っている	衛生面への配慮が不十分	世間体が悪い	手続きが煩雑	増える P O 等 利用すること からの働きかけが N	その他	不明
小中学生の子がいる世帯 全体	644	8.2	5.1	2.3	10.1	7.6	8.2	5.1	30.1	35.7